

平成20年11月4日

各 位

会 社 名 北陸ミサワホーム株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 高見 幸三  
 (コード番号: 1763 JASDAQ)  
 問合せ先 取締役総務部長 林 諭高  
 (TEL. 076-222-1558)

## 平成21年3月期第2四半期累計期間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月15日の決算発表時に公表いたしました平成21年3月期第2四半期累計期間の業績予想を下記のとおり修正いたします。

### 記

1. 平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(単位: 百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経 常 利 益	四半期純利益
前 回 発 表 予 想(A) (平成20年5月15日公表)	3,500	31	47	38
今 回 修 正 予 想(B)	3,264	25	42	△24
増 減 額(B-A)	△236	△6	△5	△62
増 減 率(%)	△6.7	△19.4	△10.6	—
前期(平成20年3月期第2四半期)実績	2,930	△4	2	△685

2. 平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(単位: 百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経 常 利 益	四半期純利益
前 回 発 表 予 想(A) (平成20年5月15日公表)	3,050	18	30	25
今 回 修 正 予 想(B)	2,761	26	44	△8
増 減 額(B-A)	△289	8	14	△33
増 減 率(%)	△9.5	44.4	46.7	—
前期(平成20年3月期第2四半期)実績	2,902	7	14	△673

### 3. 修正の理由

#### (1) 連結業績予想修正理由

当第2四半期連結累計期間における北陸地方の新設住宅着工戸数は、1万戸(前年同時期比1.2%増)となりましたが、この増加は昨年の改正建築基準法による落ち込みの反動により見られたものであり、住宅業界を取り巻く環境は依然厳しさを増しております。

このような状況下、当累計期間における連結売上高は住宅請負事業が低調であったため、計画比2億36百万円の減少(6.7%減)となりました。

営業利益及び経常利益は、建設コストと販売費及び一般管理費の削減に努力してまいりましたが売上高の減少を補うことができず、それぞれ計画を下回りました。

また、第1四半期に特別損失として計上したな卸資産の低価法適用による損失50百万円と減損損失8百万円により、四半期純損失は24百万円となりました。

(2) 個別業績予想修正理由

修正の主な理由は、売上高は連結修正理由と同様の要因によるものであります。

また、賃借料や交際費などの販売費及び一般管理費が削減できたことにより、営業利益と経常利益が計画を上回りましたが、たな卸資産の低価法適用による損失44百万円を計上したため、四半期純損失は8百万円となりました。

なお、現時点における通期業績予想につきましては、店舗などの大型物件の受注が見込まれるため、変更しておりませんが、今後の経済情勢、市場動向、計画の進捗状況等を見極めた上で、判断いたします。

以 上